

(その1)

# 地球温暖化対策結果報告書

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

### (1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名)	株式会社 東京ドーム 代表取締役社長 久代 信次
地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在地)	東京都文京区後楽1丁目3番61号

### (2) 事業所の概要

事業所の名称		株式会社 東京ドーム		
事業所の所在地		東京都文京区後楽1丁目3番61号		
業種等	事業の業種	分類番号	Q84 Q:サービス業(他に分類されない) 娯楽業 ▼	
		産業分類名	娯楽業	
	事業所の種類	主たる用途	部門分類	<input type="radio"/> 産業 <input checked="" type="radio"/> 業務
			<input type="radio"/> 工場 <input type="radio"/> 熱供給施設 <input type="radio"/> 上水道・下水道施設 <input type="radio"/> 廃棄物処理施設	
			<input type="radio"/> 事務所 <input type="radio"/> 商業施設 <input type="radio"/> 宿泊施設 <input type="radio"/> 教育施設	
<input type="radio"/> 医療施設 <input type="radio"/> 文化施設				
		<input checked="" type="radio"/> その他 ( )		
	建物の使用形態	<input type="checkbox"/> テナントビル等に該当		
事業の概要		1. 野球・各種スポーツ・コンサートなどのプロモート事業 2. 遊園地・ボウリング場・などの娯楽施設の経営 3. スポーツ・スパ・健康施設の経営 4. ベースボールグッズなどを扱うショップの経営 5. レストラン・ファーストフードなどの飲食店の経営 6. ファッション雑貨チェーン店の経営 7. ホテルなどの新規リゾート開発 8. ショッピングビル・レジャービル・ホールなどの経営 他		
主なテナント事業者等の概要 (テナントビル等の場合に記載)		(1) テナント事業者等の名称		
		(2) テナント事業者等の名称		
		(3) テナント事業者等の名称		
敷地面積		130,112	m <sup>2</sup>	
建物の延べ面積		454,883	m <sup>2</sup>	

### (3) 担当部署

計画の担当部署	名称	施設部 設備グループ	
	連絡先	電話番号	03-3817-6320
		ファクシミリ番号	03-3817-6350
		電子メールアドレス	
公表の担当部署	名称	広報IR室	
	連絡先	電話番号	03-3817-6030
		ファクシミリ番号	03-3817-6022
		電子メールアドレス	

(その2)

(4) 地球温暖化対策結果報告書の公表方法

公表期間	平成22年7月1日 ~ 平成23年6月30日	
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページで公表	アドレス: <a href="http://www.tokyo-dome.jp/csr/interim_report.pdf">http://www.tokyo-dome.jp/csr/interim_report.pdf</a>
	<input type="checkbox"/> 窓口で閲覧	閲覧場所:
		所在地:
		閲覧可能時間:
	<input type="checkbox"/> 冊子	冊子名:
		入手方法:
	<input type="checkbox"/> その他	

2 計画期間

17 年度 ~ 21 年度
---------------

3 温室効果ガスの総排出量の状況

(1) 計画期間の最終年度の温室効果ガスの総排出量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
45,989	55	9				46,053

(2) 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの総排出量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
総排出量	48,098	48,158	46,264	47,827	48,572	46,053
基準排出量 比増減率		0%	4%	1%	-1%	4%

4 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)等

(1) 温室効果ガスの排出の量

(計画終了年度: 21 年度)

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計
45,989	55	9				46,053

イ 計画期間の最終年度の建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量の状況等

(業務部門に該当する場合のみ記載)

建物の延べ面積当たりの温室効果ガスの排出の量	101.2 kg/m <sup>2</sup> ・年
建物の延べ面積当たりのエネルギー消費量	2,330 MJ/m <sup>2</sup> ・年

ウ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量	48,098	48,158	46,264	47,827	48,572	46,053
基準排出量 比増減率		0%	4%	1%	-1%	4%

(2) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況

対策分類ごとの措置の実施 状況(実施の有無)	基本対策	<input checked="" type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	うち、運用対策	<input checked="" type="radio"/> すべて実施 <input type="radio"/> 一部実施 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし
	目標対策	<input type="radio"/> すべて完了 <input checked="" type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> 計画なし

目標の達成状況	推計実績削減量(目標対策分)	822 t-CO <sub>2</sub>
	推計実績削減率(目標対策分)	1.7%
基準年度中に完了した削減対策のうち、目標対策に相当するものの実施による削減率		0.5%

(その3)

5 自動車等に係る温室効果ガスの排出の状況及び排出抑制に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO <sub>2</sub>	CH <sub>4</sub>	N <sub>2</sub> O	HFC	PFC	SF <sub>6</sub>	合計

イ 基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量						
基準排出量 比増減率						

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	<input type="radio"/> すべて完了 <input type="radio"/> 一部完了 <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> 計画なし
-----------------	--

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する自己評価

(1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等の総括

計画書に掲げた温室効果ガスの排出の抑制せ係わる措置の内容については、一部実施中、計画変更部分を除き、ほぼ対策が完了した。  
目標対策では、東京ドームの熱源設備更新工事において、ガス吸収式冷温水発生器(1050RT)4台、ターボ冷凍機(400RT)1台の更新が終了した。また、冷温水ポンプ・冷却水ポンプのインバーターによる流量制御への更新工事が今年度7月に終了予定で、既に設置が終了している中央監視装置(BEMS)と組み合わせて運用を実施する。  
黄色いビル6万ボルト特別高圧変電所、青いビル地下変電所の更新工事が完了し、スーパートップランナーの高効率変圧器への更新が終了した。  
黄色いビルの誘導灯消灯装置取付工事の計画を中止にしたのは、誘導灯器具本体を省電力(LED)タイプの器具へ更新していくよう、方針を変更したためである。  
また、2灯用蛍光灯器具を1灯用に更新する計画を中止にしたのは、高効率照明器具又はLED照明器具の導入を検討し始めたためである。

(2) 次期計画期間における取組方針

年2回開催する温暖化対策分科会及び毎月開催する省エネ推進委員会において、今後の省エネ施策の立案や実施した省エネ施策の実績報告などを行い、効果の高い施策については東京ドームシティ全域での実施を検討する。  
設備機器の運用見直しについては、入居しているテナント店舗にも協力を仰ぎ、積極的に実施する方針である。また、計画的に設備機器を最新型の高効率機器へ更新して行くと共に、エネルギー使用量計測機器を増設して、今まで以上にエネルギーの見える化を推進し、管理の強化を図る方針である。  
東京ドームシティにおいては、社会的責任を果たすためにも、今後も積極的に地球温暖化防止対策に取り組み、シティ内の緑化やエネルギー使用量の削減に努めて参ります。

(その4)

## 7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表)

## (1) 基本対策及び目標対策

対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称 も記載すること。)	対 策 レベル	追加 年度	計画時の削 減効果の見 込量(t)	達成状況		備考
					推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	
1	東京ドームホテル・最適流量制御システムの導入	目標対策 ▼		185	145	0.30%	流量制御一式導入
2	東京ドーム・大型映像システムを省電力型に更新	目標対策 ▼		45	49	0.10%	
3	東京ドーム・ガス吸収式冷温水発生器を高効率機器に更新	目標対策 ▼		372	397	0.82%	
4	東京ドーム・中央監視装置更新時にBEMSを導入	目標対策 ▼		123			BEMS工事完了済み
5	黄色いビル・6万ボルト特別高圧変電所更新工事	目標対策 ▼		50	26	0.05%	
6	第2プラザビル・インバータによる流量制御導入	目標対策 ▼		20	46	0.09%	流量制御一式導入
7	東京ドーム・ターボ冷凍機を高効率機器に更新	目標対策 ▼		36	30	0.06%	
8	黄色いビル・省エネファンベルトへの更新	基本対策 ▼		15	15	0.03%	
9	ラクーア・不要時間帯の消灯	基本対策(運用) ▼		27	53	0.11%	
10	東京ドーム・インバータ安定器への更新	基本対策 ▼		15	15	0.03%	
11	東京ドーム・省エネ電球に更新	基本対策 ▼		60	75	0.15%	
12	黄ビルA・C棟副変電所変圧器更新工事	目標対策 ▼		40	42	0.08%	
13	黄ビルB棟副変電所変圧器更新工事	目標対策 ▼	20	12	12	0.02%	
14	青いビル地下変電所変圧器更新工事	目標対策 ▼	21	3	3		
15	東京ドーム・ガス吸収式冷温水発生器を高効率機器に更新	目標対策 ▼	21	124	59	0.12%	
16	黄ビルB棟の誘導灯器具をLEDタイプに更新	目標対策 ▼	21	14	14	0.02%	

合計					980	2.0%	計画削減量(t)及び計画削減率(%)	1,141	2.3%
合計(うち目標対策分)					822	1.7%	目標削減量(t)及び目標削減率(%)	1,024	2.1%